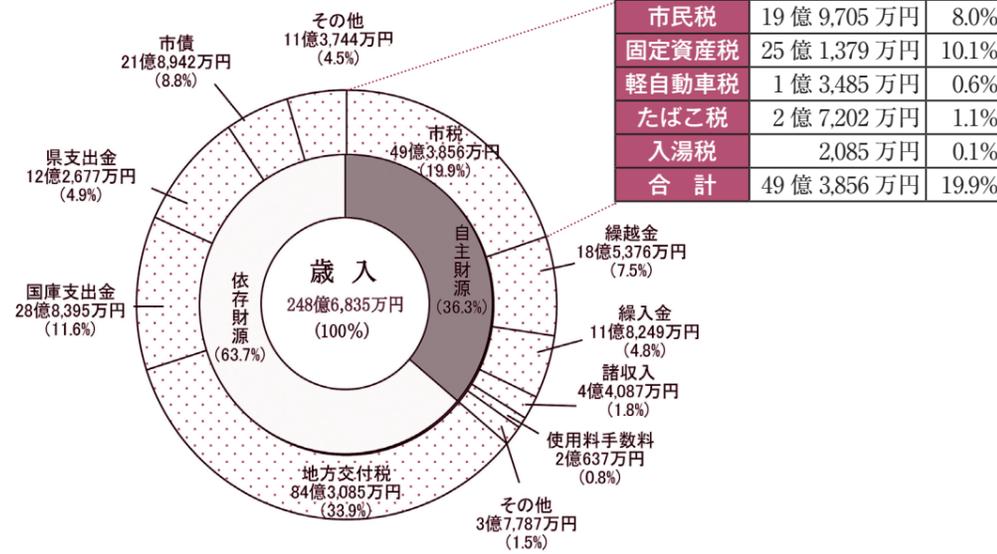


平成28年度 決算報告

平成28年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。

市民の皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。



平成28年度は、歳入については、法人市民税が企業収益の伸びにより増額となり、固定資産税についても新築家屋分で増額となるなど、景気の回復に伴い、市税が前年度より増額となりました。一方、普通交付税については、合併算定替特例措置の縮減等により減額、震災復興特別交付税は対象事業の見直しにより減額となりましたが、国県補助金及び市債等の活用により所要の財源を確保しました。

歳出については、子育て世帯等の定住促進のための住宅取得奨励金、地域おこし協力隊を活用した移住促進、文化交流や親善を目的とした友好都市交流事業、県北芸術祭と連携したイベントの開催、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催でのパラオ共和国選手団の事前キャンプ地誘致への取組、病気の回復期の児童を預かる病児保育事業に対する補助等の各種子育て支援策、高齢者福祉タクシーの利便性向上、イノシシによる農作物の被害防止策、特産品「常陸大宮さん」の認証、橋梁耐震補強工事の実施、常陸大宮駅周辺整備基本計画の策定、防災行政無線のデジタル化、第二中学校改築、美和小学校屋内運動場改築など多岐にわたる事業を実施しました。

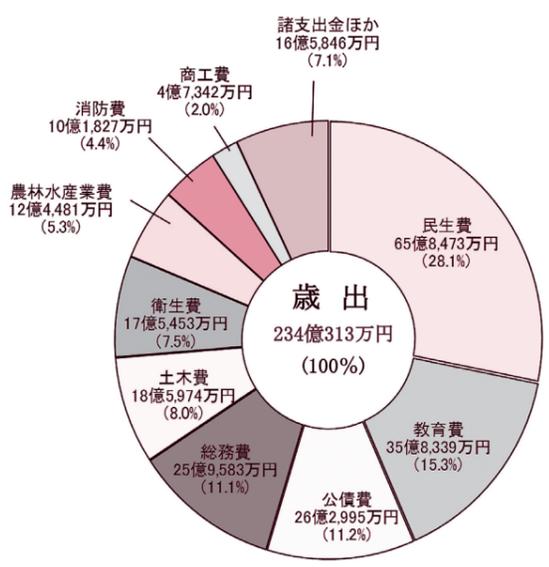
一般会計の歳入決算額は248億6,835万円、歳出決算額は234億313万円で、歳入歳出差引残額は14億6,522万円となりますが翌年度に繰り越した事業に充てる財源として1億6,566万円を差し引いた実質収支額は12億9,956万円となります。

平成28年度特別会計・公営企業会計決算額

会計名	歳入 (A)	歳出 (B)	差引 (A-B)
国民健康事業勘定	60億7,260万円	58億1,951万円	2億5,309万円
保険診療施設勘定	2億661万円	1億8,483万円	2,178万円
公共下水道事業	7億6,766万円	7億1,121万円	5,645万円
公営墓地	8,004万円	691万円	7,313万円
農業集落排水事業	5億3,886万円	5億2,196万円	1,690万円
介護保険	50億5,964万円	48億5,806万円	2億158万円
宅地造成事業	2,172万円	2,142万円	30万円
戸別浄化槽整備事業	4,545万円	4,499万円	46万円
温泉事業	3億4,476万円	3億1,894万円	2,582万円
後期高齢者医療	4億5,747万円	4億4,928万円	819万円
那珂地方公平委員会	77万円	4万円	73万円
上水道事業	収益的収支 14億2,855万円	12億8,690万円	1億4,165万円
	資本的収支 1億5,758万円	4億7,538万円	▲3億1,780万円
合計	151億8,171万円	146億9,943万円	4億8,228万円

※上水道事業会計の資本的収支の差引▲3億1,780万円(不足額)は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

- ＜商工費＞**
 商工振興に係る費用
 ◆商工会助成事業
 ◆観光振興対策事業
 ◆観光施設管理事業など
- ＜消防費＞**
 消防団運営、消防施設等の整備に係る経費
 ◆消防水利(防火水槽・消火栓)整備事業
 ◆消防ポンプ自動車購入事業
 ◆防災行政無線デジタル化整備事業
 ◆災害対策事業など
- ＜農林水産業費＞**
 農道・林道整備や農林水産業振興に係る費用
 ◆土地改良事業等による農道・排水路整備
 ◆県営負担金事業による基盤整備
 ◆林道整備事業
 ◆高井勝利森を活かし緑を育む基金を活用した林業振興事業
 ◆木造住宅建設助成事業など
- ＜衛生費＞**
 保健衛生、広域聖苑管理運営、ごみ収集等に係る費用
 ◆健康診査、各種予防接種事業
 ◆常陸大宮済生会病院運営安定化支援
 ◆広域聖苑管理運営費
 ◆大宮地方環境整備組合負担金
 ◆ごみ収集委託など
- ＜土木費＞**
 道路・橋梁整備、公営住宅管理等に係る費用
 ◆市道・橋梁整備事業
 ◆公営住宅、都市公園等管理事業など



- ＜諸支出金ほか＞**
 基金積立、議会等に係る費用
 ◆財政調整基金積立
 ◆都市施設等整備事業基金積立
 ◆市債管理基金積立など
- ＜民生費＞**
 障害者・高齢者福祉、保育所費等に係る費用
 ◆障害者自立支援事業
 ◆保育所費、延長保育実施助成
 ◆老人医療給付事業
 ◆児童手当
 ◆生活保護事業
 ◆医療福祉費
 ◆児童扶養手当
 ◆臨時福祉給付金等給付事業費
 ◆防犯対策事業など
- ＜教育費＞**
 小・中学校・幼稚園管理費、生涯学習・スポーツ振興等に係る費用
 ◆小中学校校舎等の環境整備、備品の充実
 ◆小中学校通学対策事業
 ◆第二中学校整備事業
 ◆小学校英語指導員、中学校英語指導助手配置事業
 ◆中学生海外研修事業
 ◆青少年育成事業、文化センター・図書館管理運営費
 ◆スポーツ教室開催事業
 ◆体育施設管理費
 ◆学校給食センター運営費など
- ＜公債費＞**
 過去の借入金の返済等に係る費用
 ◆元金償還
 ◆利子償還

平成28年度末市債の現在高

区分	現在高
一般会計	64億9,098万円
過疎対策事業債	32億8,467万円
臨時財政対策債	107億3,575万円
その他	53億4,286万円
一般会計計A	258億5,426万円
※Aから地方交付税算入分を除いた市債残高	57億6,541万円
特別会計・企業会計	1億1,665万円
国保診療施設勘定	1億1,665万円
公共下水道事業	31億1,725万円
公営墓地	2億3,070万円
農業集落排水事業	31億8,361万円
宅地造成事業	778万円
戸別浄化槽整備事業	1億3,625万円
温泉事業	2億7,220万円
上水道事業	38億5,944万円
特別会計等計B	109億2,388万円
※Bから地方交付税算入分を除いた市債残高	67億7,916万円
合計(A+B)	367億7,814万円
※合計(A+B)から地方交付税算入分を除いた市債残高	125億4,457万円

※印の区分は、市債のうち合併特例事業債や過疎対策事業債など、毎年度の元利償還額の一部を地方交付税で補てんされる市債があり、それらの市債の残高から補てんされる金額を除いて実際に市が負担する見込み額です。

市民1人当たり・1世帯当たりの基金及び市債の現在高

区分	1人当たり	1世帯当たり
基金		
積立基金	24万1千円	59万1千円
定額運用基金	2万8千円	7万円
合計	26万9千円	66万1千円
市債		
一般会計	59万8千円 (13万3千円)	146万5千円 (32万7千円)
特別会計+企業会計	25万2千円 (15万7千円)	61万9千円 (38万4千円)
合計	85万円 (29万円)	208万4千円 (71万1千円)

※上記の金額は、平成29年3月31日現在の住民基本台帳人口と世帯数(43,264人、17,647世帯)を用いて算出しています。また、市債の「1人当たり」及び「1世帯当たり」の()書きの金額は、地方交付税で補てんされる金額を除いた額になります。

市民の皆さんの市税負担額と市の歳出額

区分	1人当たり	1世帯当たり
市税負担額	114,149円	279,853円
歳出額	540,938円	1,326,182円

※上記の金額は、平成29年3月31日現在の住民基本台帳人口と世帯数(43,264人、17,647世帯)を用いて算出しています。

■問い合わせ■ 財政課 財政グループ(内線376)